令和４年度事業計画書

令和４年４月１日から同５年３月 31 日まで

公益社団法人 顔と心と体研究会

1．事業活動の目的

（1）メイクボランティア活動により組織基盤・財政基盤を維持する。

（2）調査研究活動により化粧の効果を科学的に実証する。

（3）化粧の効果に関して普及啓発活動を行い、化粧の社会的地位を向上させる。

（4）資格認証事業により外観に悩みを抱える方々の社会参加・社会復帰を支援し、併せて資格の社会的な認知・信頼性を確立する。

2．事業活動を取り巻く情勢と活動の概要

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、当法人の活動の柱である高齢者施設へのメイクボランティア訪問を 2020 年３月から約２年見合わせているが、今年度は施設からの希望があれば、「メイクボランティア感染拡大防止ガイドライン」に則った、コロナ禍での新しいメイク方法でのメイクボランティア再開を目指したい。

メイク講習については、児童養護施設の卒業者向けの講習など、比較的コロナの影響を受けにくい対象に向けて、オンライン講習などを検討したい。

資格認証制度についても、同じく実技試験の実施を見合わせざるを得ない状況が続いていたが、今年度はまず５月に第３回３級試験を実施し、11 月に第４回を継続させたい。また、懸案となっている学科テキストの発行を完了させ、併せて今年度中に第１回の２級試験の実施を目指したい。なお、４級については、希望者を WEB 受験に誘導して行く。

2020 年 10 月より開始した、会員基盤を維持するための、会場・オンライン併用による小規模セミナー（「１級者研究会」を発展させたもの）は引き続き年 3～4 回のペースで開催していき、これまで行っていた大規模な公開講座・シンポジウムは行わない。

3．事業計画の内容

（1）メイクボランティア訪問・メイクボランティア講習会・メイク講座

（ア）メイクボランティア訪問

新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、施設訪問再開のタイミングを計る。再開時の参加者には、コロナ対応のための「新しいメイクボランティアのためのガイドライン」ならびにこのガイドラインに基づき作成・配信した「新しいメイクボランティア方法」の動画を改めて周知し、メイクボランティアリーダー・フルメイク担当者に向けたオンライン講習も検討する。

（イ）メイクボランティア講習会

メイクボランティアが再開し、既存の参加者に「新しいメイクボランティア方法」が浸透したタイミングでの開催を目指す。作成したメイクボランティア動

画を活用する方法も検討する。

（ウ）メイク講座

- オンライン形式で実施可能な講座の開催について検討する。
- NHK 文化センター等の学習機関、行政機関、教育機関等でのメイク講座については、当該機関と相談しながら、再開を検討する。
- 更正保護法人「両全会」でのメイク講座については、4 月、7 月、10 月、2023 年 1 月を予定。

(2) 調査研究活動

（ア）化粧によるストレス軽減効果に関する長期的観察

身体障がい・知的障がい等をもつ母親への化粧の効果についての調査やデータ集積についてはコロナ禍により見合わせているが、機会を見て再開できるかどうかを改めて検討する。

（イ）「社会的支援を必要とする高齢者へのメイクアップを用いた高齢者・支援者双方の QOL 向上の試み 」

（文化学園大学 応用健康心理学研究室 精神保健学 佐藤浩信教授との共同研究）

コロナ禍でメイクボランティアの実施を見合わせているため、高齢者へのメイクの効果のデータ測定も行えていない状況が続いているが、メイクボランティアが再開した時に、こちらの調査研究活動も再開できるように、佐藤教授と調整を進めていく。また、これまでの、多数症例（70～80）のデータ取りまとめや、アンケートにより収集したデータのまとめを引続き行う。

(3) 普及啓発活動・情報誌等発行事業

（ア）「顔と心と体」セミナーの実施

今年度も引き続き、会場とオンラインを併用した小規模なセミナー（「顔と心と体セミナー」）を定期的に実施する（3～4 ヶ月に 1 回程度）。

大人数を一カ所に集めての公開講座・シンポジウムの開催は行わない。

（イ）会報誌の発行・ホームページの更新

当法人の活動状況について周知するため、会報誌を年 4 回発行し、会員及び医療機関・高齢者施設・公共機関等に配布する。

ホームページの更新を最低月 1 回、月間アクセス 1,000 の回復を目指す。

(4) メンタルメイクセラピスト®資格認証事業

（ア）試験の実施

新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、5 月に第 3 回 3 級試験（第 2 回は中止）、11 月に第 4 回、及び今年度中に第 1 回 2 級試験の開催を目指す。

（イ）学科テキストの発行

今年度中に発行する。

（ウ）認定更新

2018年9月に行った「制度発足前認定試験」にて認定した1級資格者（5名）について、2022年9月で資格の有効期間が切れるため、認定更新作業を行う。なお、第1回試験の3級認定者の有効期限は2024年11月だが、更新要件の点数取得状況などは、常に最新情報を事務局で把握し、認定者へ情報共有・発信できるようにする。3級の更新点数の追加要件である「メイクボランティアへの参加」が2年間行えない状況を加味し、更新要件や期限について改めて検討することも視野に入れていく（4 級は現在のところ有効期限は設けていない）。

(5) その他

（ア）理事会

以下の日程で開催予定であるが、引き続き Zoom システムを利用してのオンラインでの開催が主となる予定。

また、今年度は2年に1度の役員改選のため、5月の決算理事会後が現在の理事・監事での最後の理事会となり、社員総会後に新理事による理事長選任の理事会を行う。

6月2日（木）　事業報告・決算承認、社員総会招集、新顧問の承認

6月17日以降（社員総会開催後）　役員改選に伴う理事長選任

11月　活動状況報告

また、必要に応じ、適宜理事会を開催する予定。

（イ）社員総会

2022年6月17日（金）役員改選、事業報告・決算承認のために開催予定。

（ウ）活動財源

セミナー・検定事業等の事業収益、会費、寄附金、テキスト販売代金等を充当する予定。

以　上

令和4年度 収支予算書

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

（単位:円）

科　　目	2022(R4)年度予算合計	当年度予算額	増　　減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	1,100,000	1,285,000	-185,000
正会員受取会費	1,050,000	1,200,000	-150,000
賛助会員受取会費	50,000	85,000	-35,000
事業収益	1,940,000	1,700,000	240,000
公開講座・シンポジウム事業収益	400,000	400,000	0
メイクボランティア事業収益	200,000	200,000	0
メイク講座事業収益	100,000	100,000	0
検定事業収益	1,240,000	1,000,000	240,000
受取寄付金	50,000	13,872,000	-13,822,000
受取寄付金	50,000	13,872,000	-13,822,000
募金収益	0	0	0
雑収益	0	0	0
受取利息	0	0	0
雑収益	0	0	0
経常収益計	3,090,000	16,857,000	-13,767,000
(2) 経常費用			
事業費	19,546,000	19,596,000	
給料手当	6,580,000	6,580,000	0
福利厚生費	500,000	500,000	0
会議費	90,000	95,000	-5,000
旅費交通費	300,000	300,000	0
通信運搬費	450,000	450,000	0
減価償却費	70,000	70,000	0
消耗品費	200,000	200,000	0
印刷製本費	8,800,000	8,800,000	0
賃借料	250,000	300,000	-50,000
諸謝金	1,560,000	1,560,000	0
渉外費	100,000	100,000	0
委託費	626,000	626,000	0
支払手数料	10,000	5,000	5,000
新聞図書費	10,000	10,000	0
雑費	0	0	0
管理費	4,497,000	4,497,000	0
給料手当	1,375,000	1,375,000	0
福利厚生費	120,000	120,000	0
会議費	50,000	50,000	0
旅費交通費	200,000	200,000	0
通信運搬費	150,000	150,000	0
減価償却費	70,000	70,000	0
消耗品費	100,000	100,000	0
印刷製本費	200,000	200,000	0
光熱水料費	150,000	150,000	0
賃借料	1,222,000	1,222,000	0
租税公課	5,000	5,000	0
委託費	850,000	850,000	0
支払手数料	5,000	5,000	0
雑費	0	0	0
経常費用計	24,043,000	24,093,000	-50,000
評価損益等調整前当期経常増減額	-20,953,000	-7,236,000	-13,717,000
評価損益等計		0	0
当期経常増減額	-20,953,000	-7,236,000	-13,717,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	-20,953,000	-7,236,000	-13,717,000
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-20,953,000	-7,236,000	-13,717,000
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	0	0	0